



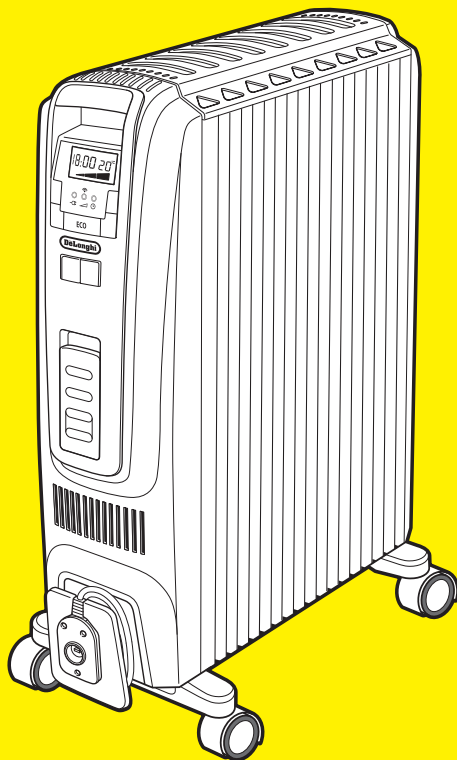
Electric Oil-Filled Heater

デロンギ
ドラゴンデジタル
オイルヒーター

型式番号 **TDD0915W/
TDD0712W (共通)**

- ▶ 9枚フィン: X字型 / 1500W (TDD0915W)
7枚フィン: X字型 / 1200W (TDD0712W)
- ▶ デジタルタイマー
- ▶ 安全プラグ
(温度過昇防止装置内蔵)
- ▶ エコ運転モード

家庭用



Made in China

※イラストはTDD0915Wです。

取扱説明書 (保証書付)

この度は、デロンギヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

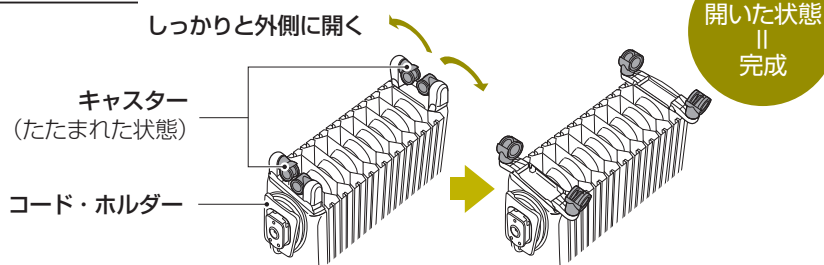
目次

安全上のご注意	1～5
知っておいていただきたいこと	6
ご使用になる前に	6
各部の名称とはたらき	7～8
現在時刻の設定方法	9
暖房の設定方法	10
暖房運転の方法	11～12
運転モードの切り替え (マニュアル運転とエコ運転)	12
タイマーの設定方法	13～14
タイマー運転の方法	15～16
便利な機能について	17
ヒーターの上手な使い方	18
プラグの収納について	18
故障かな?	19～20
これは故障ではありません	21
仕様	21
電源プラグ・コードの 安全チェックシート	22～23
お手入れ／保管のしかた	24
まごころ点検について	24
アンケートご協力をお願い	25
アフターサービス	26
保証書	裏表紙

折りたたみ式キャスターの開き方

折りたたみ式キャスターを開く手順

- ①ヒーターの底部を上にして仰向けにします。
- ②キャスター全てを、しっかりと外側に開きます。
- ③ヒーターをゆっくりと起こします。



安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。

⚠ 危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。

⚠ 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

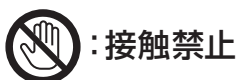
この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

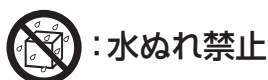
この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



: 禁止



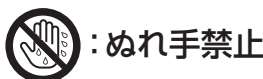
: 接触禁止



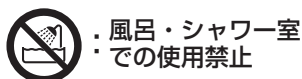
: 水ぬれ禁止



: 分解禁止



: ぬれ手禁止



: 風呂・シャワー室での使用禁止

この絵表示は必ず実行していただく「強制」内容です。



: 指示を守る

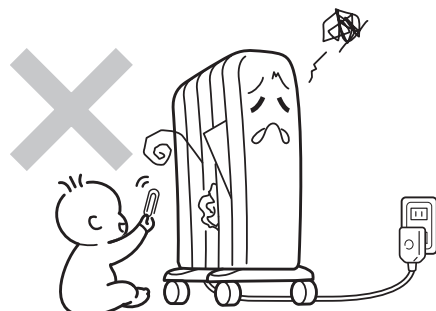
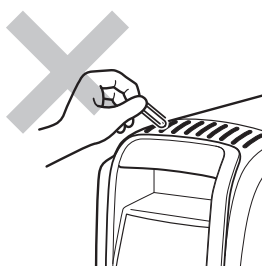


: 電源プラグを抜く

⚠ 危険



穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない。
特に子供のいたずらに注意する
感電やケガをすることがあります。



⚠ 警告

【電源／コンセントについて】



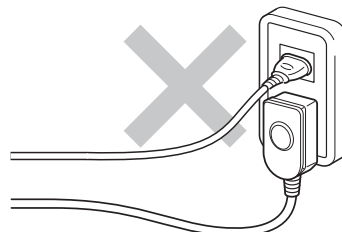
電源は交流 100V (50/60Hz) で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

15A 125V



コンセントは本製品だけ（単独）で使用する
コンセントの差し込み口が2つある場合は片方の差し込み口を使用しないでください。

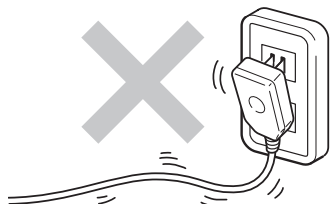


警告

【電源／コンセントについて】

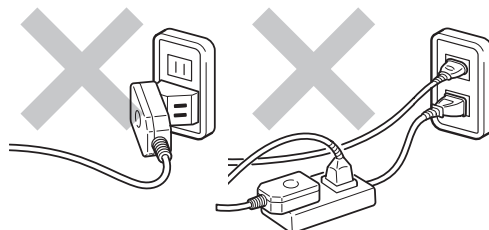


取付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差し込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。



延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない

コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。

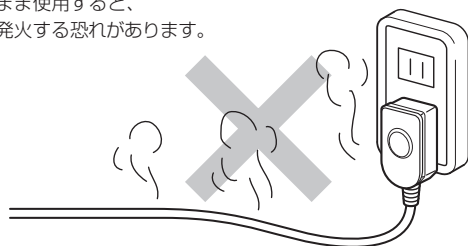


【電源プラグ／電源コードについて】



電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源ボタンで電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または当社サービスセンター（26 ページ）に、ご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。

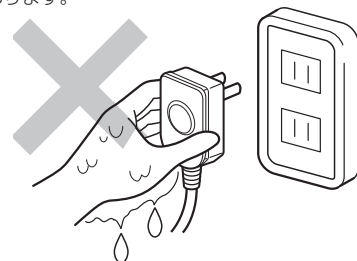


変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または当社サービスセンター（26 ページ）に、交換を依頼してください。

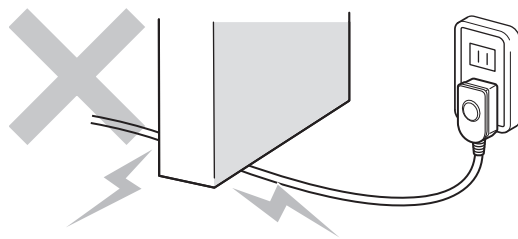


ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。

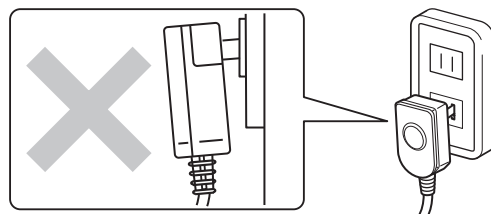


電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない

電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。



電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。



動作中に電源プラグを抜き差ししない

ヒーターの運転中に、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・火災の原因になります。



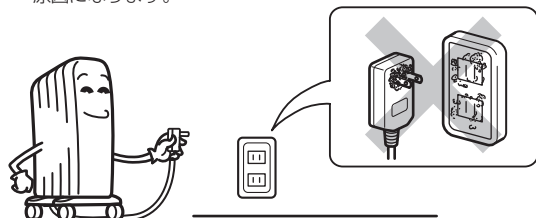
運転の際は、電源コードを巻きつけた状態で使用せず、すべてコード・ホルダーから解き、余っても束ねない

熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。



電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く

ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。





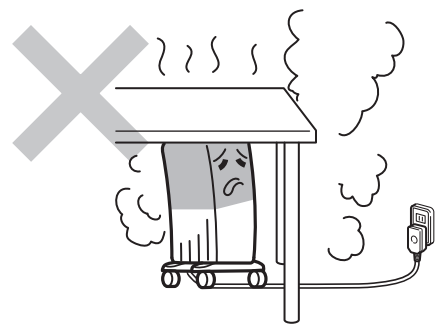
警告

【設置場所について】



テーブルや机の下で使わない

ヒーターの上部は燃えやすいものから約 1m 以上の距離を取ってください。
ヒーターの上部をふさぐと、空気の流れができず高温となり、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。

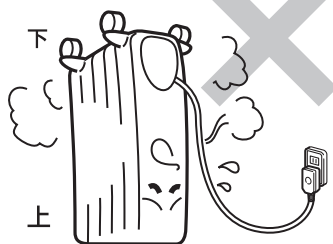


【使用中／使用後について】



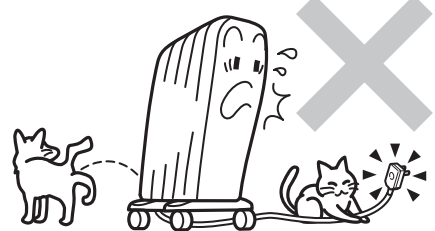
逆さまや横倒し、立てかけて使わない

火災や故障などの恐れがあり、危険です。



猫や犬など、ペットの暖房に使わない

ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。



小さいお子様の手の届くところにリモコンを置かない

誤って電源を入れてしまう恐れがあります。また、乾電池を取り出し、誤って飲む恐れがあります。



カーテンなど燃えやすいものの近くで使用しない

カーテンなどが本体を覆ってしまうと、過熱により火災の恐れがあります。



スプレー缶などを本体の近くに置かない

スプレー缶が破裂し、火災の原因になります。



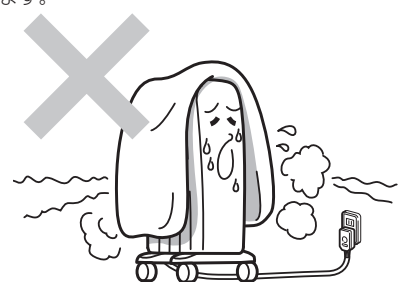
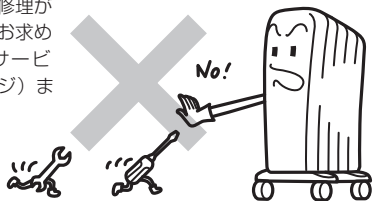
本体や通気口をタオルや毛布などで絶対に覆わない

本体や通気口にタオルや毛布などをかけたり、濡れたもの（洗濯物など）の乾燥に利用しないでください。過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



本製品を分解したり、改造をしない

故障や発火の恐れがあります。ヒーター内部には難燃性のオイルが充てんされています。修理が必要な場合は、必ず、お求めの販売店または当社サービスセンター（26 ページ）までご連絡ください。

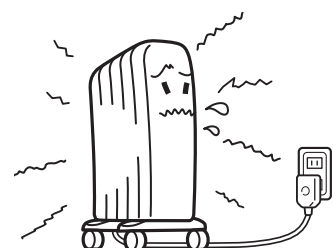


【運転中について】



異常が生じた場合は、使用を中止する

万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または当社サービスセンター（26 ページ）までご連絡ください。



【お手入れについて】



本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う

ヤケド・感電・ケガの原因になります。





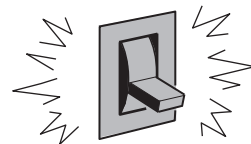
注意

【電源について】



ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する

ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。詳しくは、6 ページ「知っておいていただきたいこと」を参照してください。

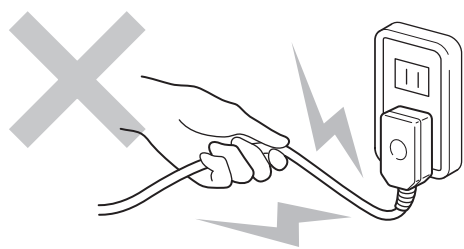


【電源プラグ／電源コードについて】



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



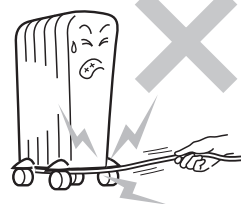
運転中は、電源コードを本体に触れさせない

熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。



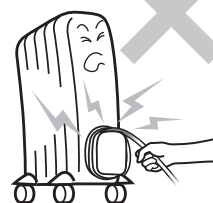
電源コードを引っ張らない

電源コードを引っ張ると、コードの接続部が傷み、感電やショートの原因になります。



電源コードをコード・ホルダーに強く巻きつけない

電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、感電やショートの原因になります。

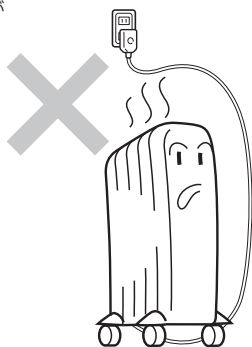


【設置場所について】



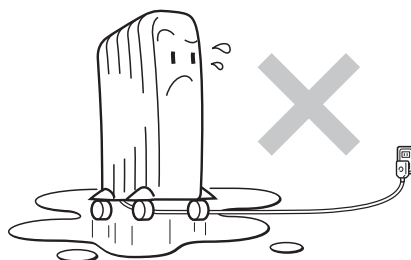
電源をとるコンセントのすぐ下で使わない

暖気で電源コード／電源プラグが変形・変質し、故障などの原因になります。



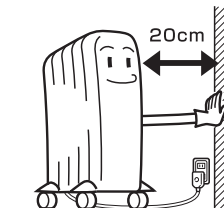
屋外や水／湿気の多い場所（部屋）、浴室で使わない

ショートや感電の恐れがあります。また、硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害の恐れがある場所で使用しないでください。故障の原因となります。



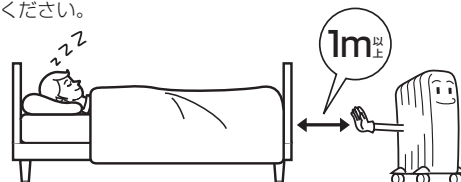
壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから 20cm 以上 離す

材質によっては、ヒーターの熱で変色／変質する恐れがあります。



人や家具などからは、1m 以上 離す

オイルラジエーターヒーターを寝室でご使用される場合、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して約 1 m 以上の距離を取ってください。



毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置く

ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。



⚠ 注意

【使用中／使用後について】



使用時は必ずキャスターを開く

必ず本体底部のキャスター（車輪 4 個）を水平に開き、しっかりと立ててから使用してください。（表紙参照）



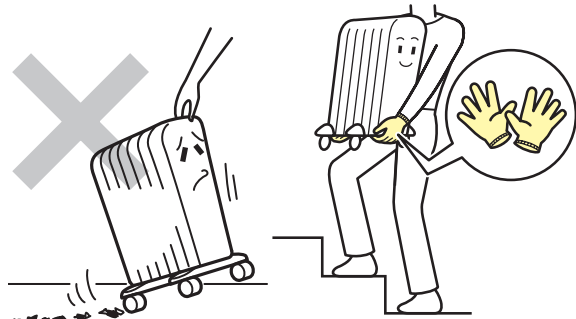
本体が転倒・落下したときには、使用せず、点検を依頼する

感電・火災・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下してしまった場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または当社サービスセンター（26 ページ）までご連絡ください。



ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行う

取っ手を持ちゆっくりと引いてください。床面が傷付く場合がありますので、必ずキャスター（車輪 4 個）を床面につけて、移動してください。本体が重いので、階段や段差での移動は、手を保護する目的で手ぶくろなどをし、本体底部を持って行ってください。



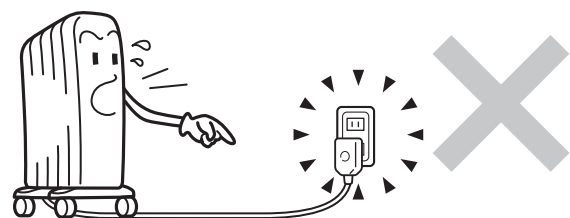
小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う

運転中および運転していないときも、お子様がヒーターのそばにいるときは大人の方が付き添ってください。特にヒーター底部やキャスターなどに触れさせないようにご注意ください。



長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

誤って、電源が入る恐れがあります。

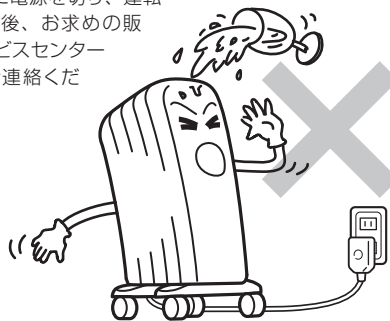


【運転中について】



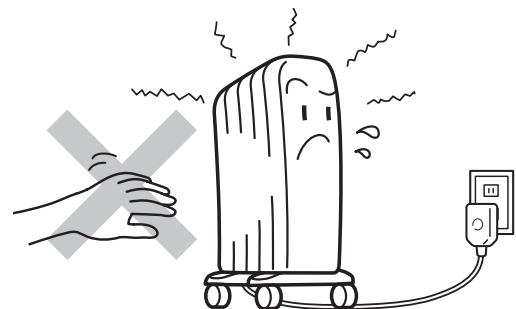
本体や操作部に水やジュースをこぼさない

本体や操作部に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。その後、お求めの販売店または当社サービスセンター（26 ページ）までご連絡ください。



運転中および停止直後は、ラジエーター／フィン（放熱板）に触れない

表面温度は、高温になりますので触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。



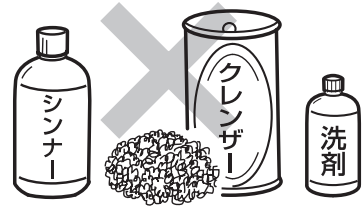
【お手入れについて】



絶対に水に浸したり、水洗いをしない



洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使わない



知っておいていただきたいこと

定格電流について

ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、**契約電力**（電気料金の請求書「基本契約欄」に00Aと記載）を**超えていないかどうか**確認してください。なお、定格電流

の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100(\text{V: 電圧})}$$

TDD0915W(1500W)	TDD0712W(1200W)
15A(アンペア)	12A(アンペア)

ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。**契約電力が不足している**

場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。
※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

《ご使用になる前に》 電源プラグをご確認ください

本製品の電源プラグ（安全プラグ）の特長は…

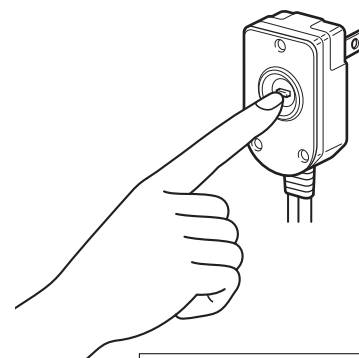
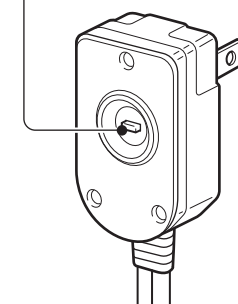
本製品の電源プラグには壁面コンセントの老朽化やガタツキによるプラグ部の発熱・発火事故を未然に防ぐために復帰型温度過昇防止装置が内蔵されています。この装置は、電源プラグスイッチ周辺が異常過熱（約80℃以上）したときに作動し、本製品の電源を切ります。

ご購入時に、電源プラグスイッチが作動している場合があります。これは輸送時のコンテナ内の温度によって復帰型温度過昇防止装置が作動した結果です（故障ではありません）。

最初にご使用になる際に、電源プラグをコンセントに差し込んでも通電ランプが点灯しない場合は、電源プラグスイッチをプラグ内に指先または爪でカチッと音がするまでしっかりと押し込んでから、本製品をお使いください。

※毎シーズン、ご使用になる前には電源プラグをご確認ください。（電源プラグスイッチをプラグ内に指先または爪でカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。）

● 電源プラグスイッチ



特許第 4209907 号取得



注意

運転中に電源プラグスイッチが作動した場合は、電源プラグスイッチを再度押し込んでから、使用するコンセントを変えてみてください。別のコンセントでも電源プラグスイッチが作動した場合は、一時使用を止め、当社サービスセンター（26 ページ参照）にご連絡ください。

ヒント

運転中に電源プラグスイッチが作動した場合、約2時間後に記憶させた設定が消えてしまいます。改めて設定を行ってください。

各部の名称とはたらき

〈暖房のしくみ〉

ヒーター内部に密封した難燃性オイル（★）を下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはパネル内を循環し、X字型フィン（放熱板）で効率良く放熱、輻射熱と自然対流で室内を暖めます。★オイルの補充・交換は不要です。

本体

通気口



故障の原因になりますので、絶対にふさがないでください。

取っ手

ヒーターを移動する際はここに指をかけ、ゆっくりと引いてください。

リモコン

コード・ホルダー

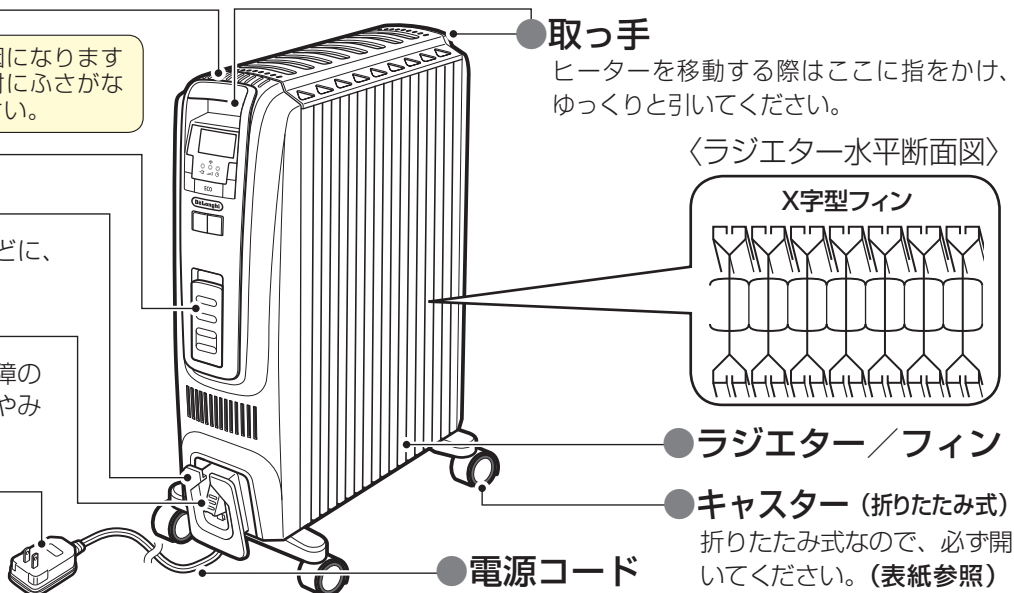
ヒーターを使わない時／移動する時などに、電源コードを巻いておきます。

温度センサー部

周辺の温度を感知します。誤作動・故障の原因となりますので、ふさいだり、むやみに触れたりしないでください。

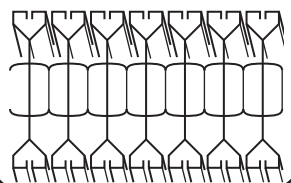
電源プラグ（安全プラグ）

復帰型温度過昇防止装置内蔵。
（プラグの収納については18ページ参照）



〈ラジエーター水平断面図〉

X字型フィン



ラジエーター／フィン

折りたたみ式なので、必ず開いてください。（表紙参照）

ヒーターを移動する際のご注意

床材の質・種類によっては、床面が傷付く場合がありますので、ゆっくりと動かしてください。また、階段や段差での移動は、ヒーターが十分冷えてから前後の取っ手を持って行ってください。

付属品：リモコン、リモコン用乾電池（単4形×2）

リモコン



乾電池についての注意



外装シールが剥がれている乾電池は使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因。



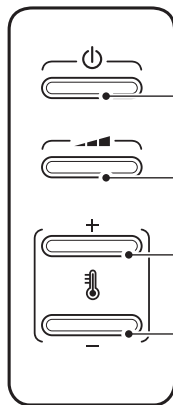
長期間使用しないときは乾電池を取り出す
液漏れの原因。



交換の際は新しい同じ種類の乾電池を2本使用する
液漏れ、発熱、破裂の原因。
送信がうまくいかない場合は早めに交換してください。



乾電池は⊕⊖を逆に入れない
液漏れ、発熱、破裂の原因。



電源ボタン

運転の開始／停止を行います。

電力レベルボタン

3段階に電力レベルを切り替えることができます。

押すごとに「弱→中→強」と切り替わります。

+/-ボタン

温度を設定するときに使用します。

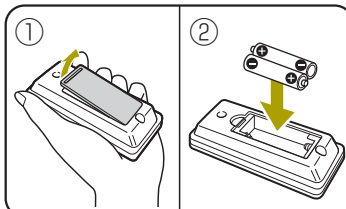
リモコンの操作に関して

- リモコンは本体前面に向けて操作してください。
- 本体は、リモコンからの信号を受信すると受信音が鳴り、電力レベルランプが光ります。（操作音を消している時は鳴りません）

〈リモコンの準備〉

リモコンに電池を入れる

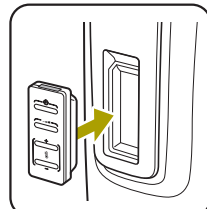
- ①リモコン背面の電池カバーをはずす。
- ②⊕、⊖を確認して単4形2本を入れる。
- ③電池カバーを取り付ける。



〈リモコンの収納〉

リモコンは本体の操作パネルに収納することができます。

※本体内部の磁石で乾電池を吸着しているため、リモコンは乾電池が入っている状態だと本体に収納できません。



各部の名称とはたらき (つづき)

ディスプレイ

ディスプレイには保護シールが貼ってあります。
ご使用前にはがしてください。

タイマー運転表示

タイマー運転中、現在時刻がタイマーの予約時間（オン時間）内であるときに表示されます。（15 ページ参照）

エコ運転表示

エコ運転時に表示されます。（12 ページ参照）

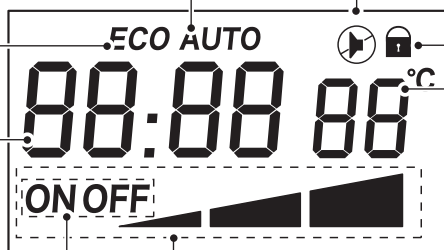
時刻表示

現在時刻が表示されます。また、タイマー時刻設定時に使用します。（時刻表示は 24 時間表示です。）（9 ページ参照）

タイマー設定表示

タイマー時刻設定時に表示されます。（13 ～ 14 ページ参照）

※通常使用時にこれらが同時に表示されることはありません。
（初回使用時に電源プラグをコンセントに差し込んだ時のみ）



消音表示

リモコン操作時や運転停止時の音を消した場合に表示されます。（17 ページ参照）

チャイルドロック表示

チャイルドロックが設定されている際に、表示されます。（17 ページ参照）

温度／タイマー予約表示

+ / - ボタンで設定した温度が表示されます。また、タイマー運転中はどの予約時刻設定（A または b）で運転しているか表示されます。（10、15 ページ参照）

電力レベル設定表示

設定されている電力レベルが表示されます。（10 ページ参照）

	表示	TDD0915W	TDD0712W
強		1500W	1200W
中		900W	700W
弱		600W	500W
運転停止	(表示なし)	—	—

操作パネル

通電ランプ

電源プラグをコンセントに差し込むと赤色に点灯します。

電源ボタン

運転の開始／停止を行います。

電力レベルボタン

3 段階に電力レベルを切り替えることができます。押すごとに「弱→中→強」と切り替わります。

エコ運転ボタン

エコ運転に切り替えることができます。押すごとに「エコ運転」⇄「マニュアル運転」と切り替わります。

+ / - ボタン

温度や各種設定（タイマー時刻、現在時刻、ディスプレイの明るさ）を変更するときに使用します。

電力レベルランプ

暖房の稼働状況を電力レベルに応じて色別で点灯します。

- 強で稼働 ▶ 赤色
- 中で稼働 ▶ 黄色
- 弱で稼働 ▶ 緑色
- 暖房停止 ▶ 消灯

タイマーランプ

タイマー運転時には黄色で点灯します。また、タイマー時刻設定時は点滅します。

タイマー運転ボタン

タイマー運転に切り替えることができます。押すごとに
「タイマー運転（設定 A）→タイマー運転（設定 b）」
「タイマー運転停止 ← タイマー運転（設定 A & b）」
と切り替わります。

設定ボタン

各種設定（タイマー設定、現在時刻、ディスプレイの明るさ）を変更するときに使用します。押すごとに

「タイマー設定 A → タイマー設定 b」
「設定終了 → ディスプレイ明るさ設定 ← 現在時刻設定」
と切り替わります。

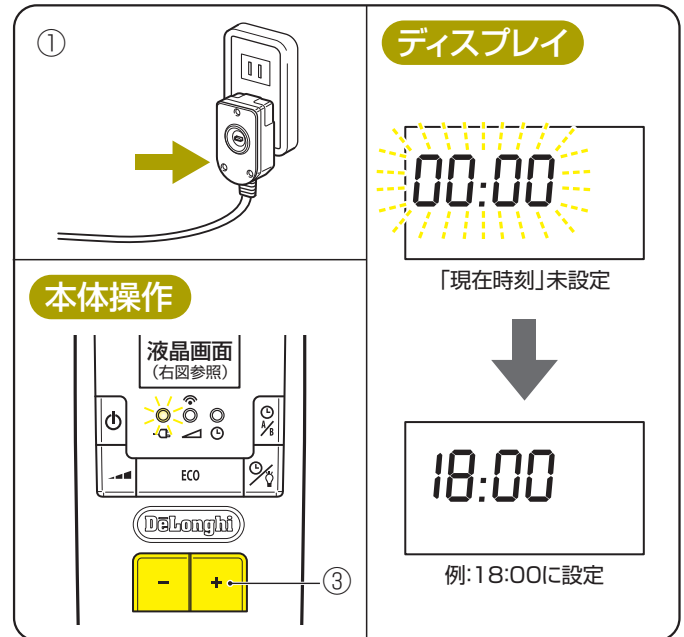
5 秒間何も押さず待つことで、設定は確定されます。

現在時刻の設定方法

初回使用時や長時間電源プラグをコンセントから抜いた状態から再使用する際に必要な作業です。

A 初回使用時の現在時刻設定

- ①電源プラグをコンセントに差し込む
壁面コンセントに根元までしっかりと入れてください。また、電源コードは、コード・ホルダーから解き、伸ばした状態でご使用ください。
- ②通電ランプが点灯する
通電ランプが点灯し、時刻表示が点滅します。
- ③+ / - ボタンを押して時刻を合わせる
ボタンを長押しすると、数字は早く進みます。
- ④時刻を確定する
5 秒間何も押さず待つことで、時刻表示の点滅が止まり、設定が確定されます。

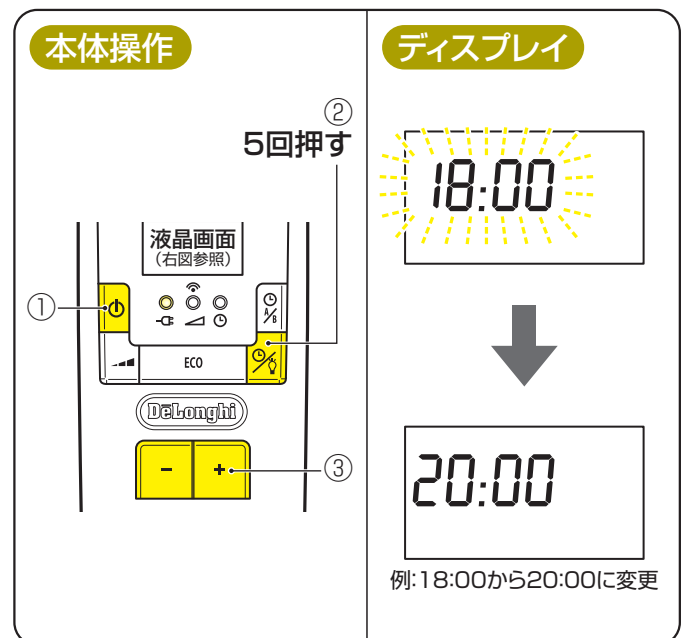


ヒント

電源プラグをコンセントから抜いた後、約 2 時間後に記憶させた設定は消えてしまいます。現在時刻の設定が消えてしまった場合には、改めて設定を行うことが必要になります。

B 現在時刻の変更

- ①電源を入れる
電源ボタンを押し、電源を入れます。
- ②設定ボタンを 5 回押す
時刻表示が点滅します。
- ③+ / - ボタンを押して時刻を合わせる
ボタンを長押しすると、数字は早く進みます。
- ④時刻を確定する
5 秒間何も押さず待つことで、時刻表示の点滅が止まり、設定が確定されます。



暖房の設定方法

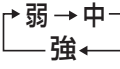
電源プラグをコンセントに差し込んだ状態（通電ランプ→点灯）で操作してください。




A 電力レベルの設定

① 電源を入れる

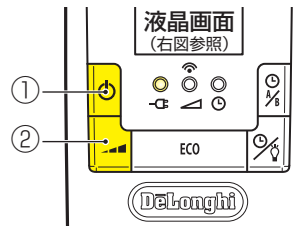
電源ボタンを押し、電源を入れます。

② 電力レベルを設定する

電力レベルボタンを押すと、電力レベルが設定できます。ボタンを押すごとに  と切り替わります。

	表示	TDD0915W	TDD0712W
強		1500W	1200W
中		900W	700W
弱		600W	500W

本体操作

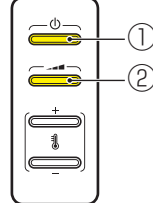


ディスプレイ



例:「中」に設定

リモコン操作



ヒント

エコ運転モードでは、設定した電力レベルを上限として、自動的に最適な電力レベルに切り替わります。（詳しくは 12 ページ参照）

B 温度の設定

① 電源を入れる

電源ボタンを押し、電源を入れます。

② 温度を設定する

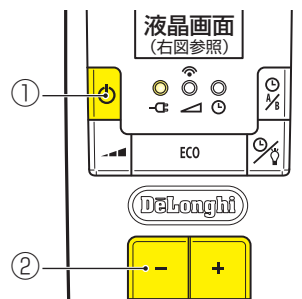
+/- ボタンを押すと、希望の温度が設定できます。温度は 10～28℃の間で設定可能です。



注意

ヒーターは、温度センサー付近の周辺温度を感知し、設定した温度を保つよう自動的に暖房のオン・オフを繰り返します。そのため、設定した温度が周辺温度よりも低い場合には暖房は開始されません。ヒーター本体を暖めるため、暖房開始当初は最大温度（28℃）に設定することをおすすめします。

本体操作

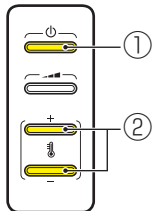


ディスプレイ



例:18℃に設定

リモコン操作



凍結防止機能

ヒーターには周辺の温度が 5℃以下になった場合に自動的に運転を開始し、室内の植物等を凍結から保護する「凍結防止機能」が搭載されています。温度を「10℃」よりさらに下げることによって設定できます。温度表示が「5℃」と表示されることで「凍結防止」が確定されます。

※「凍結防止」時は「℃」のみ点滅し、運転モードや電力レベルの切り替えは行えません。（電力レベルは強に設定されます。）



暖房運転の方法

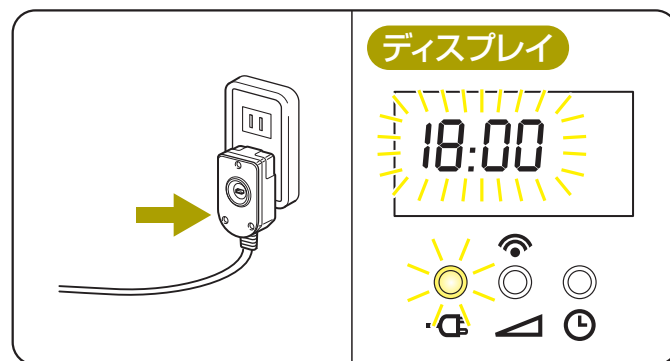
1 電源プラグをコンセントに差し込む

① 電源プラグをコンセントに差し込む

壁面コンセントに根元までしっかりと入れてください。また、電源コードは、コード・ホルダーから解き、伸ばした状態でご使用ください。

② 通電ランプが点灯する

通電ランプが点灯し、時刻表示が表示されます。この時はまだ暖房は開始されません。



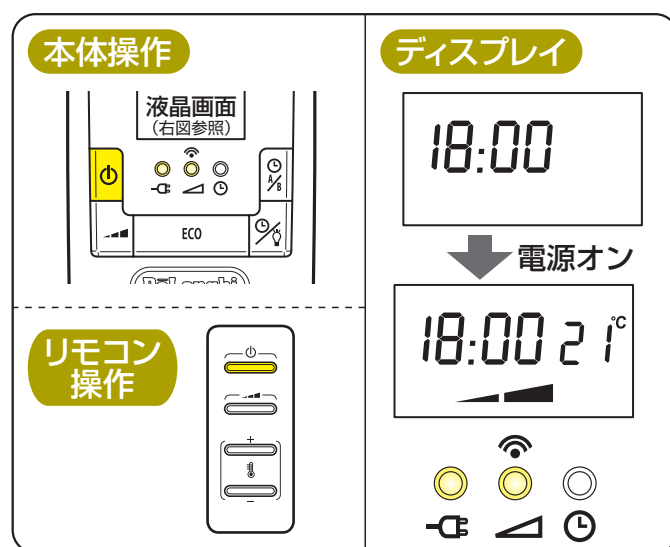
ヒント

初回使用時や現在時刻の設定が消えてしまった場合は、時刻表示が点滅します。現在時刻を設定する場合には9ページ「現在時刻の設定」を参照してください。

2 電源を入れる

電源ボタンを押し、電源を入れる

電源ボタンを押し、電源を入れます。電源を入れると、設定されている電力レベル・温度が表示されます。



3 設定を行う

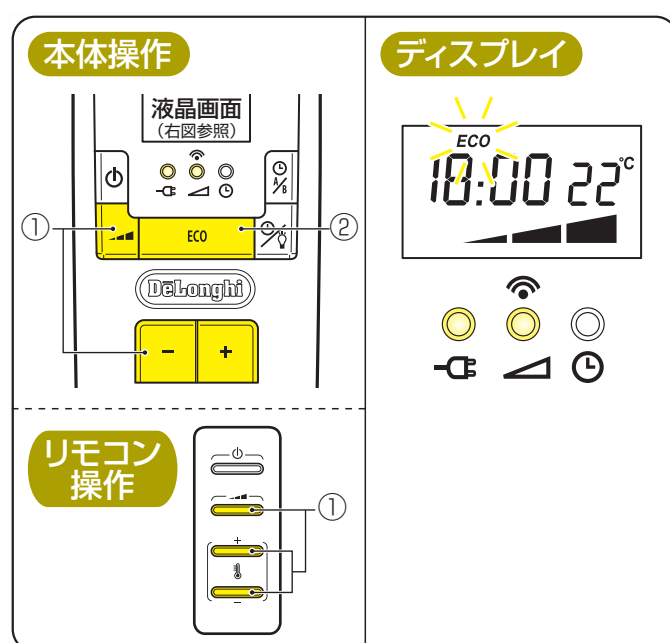
① 電力レベル、温度を設定する

電力レベルボタン、+/-ボタンで設定を行います。詳しくは10ページ「暖房の設定方法」を参照してください。

ヒーターは温度センサー付近の周辺温度を感知し、設定した温度を保つよう自動的に暖房のオン・オフを繰り返します。また、電力レベルランプは暖房の稼働状況に応じて、消点灯を繰り返します（ディスプレイの電力レベル設定表示は稼働状況に応じて変わらず、常に設定した電力レベルが表示されます）。

② 運転モードを選択する

エコ運転ボタンで運転モードを選択します。詳しくは12ページ「運転モードの切り替え」を参照してください。



ヒント

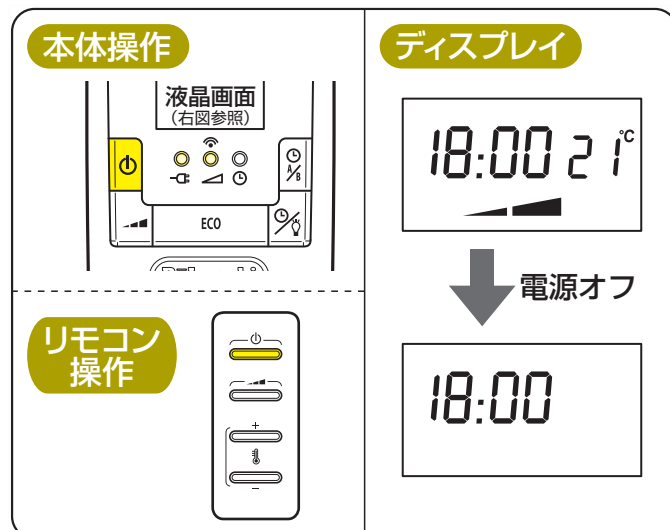
暖房運転の当初は室内を早く暖めるために、電力レベルを「強」に設定することをおすすめします。

暖房運転の方法（つづき）

4 電源を切る

電源ボタンを押し、電源を切る

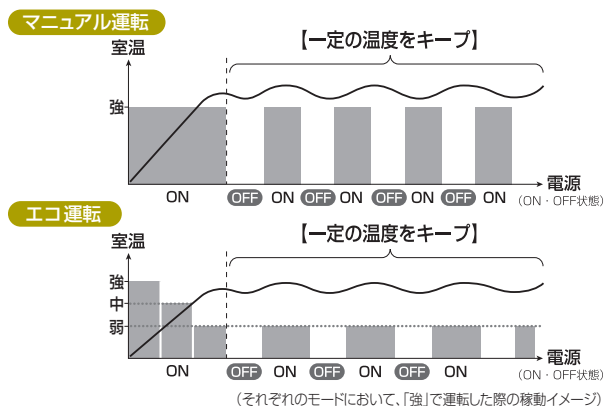
電源ボタンを押し、電源を切ります。電源を切ると、設定されている電力レベル・温度が消え、現在時刻だけが表示されます。



運転モードの切り替え

暖房運転はマニュアル運転とエコ運転の2種類の運転モードから選べます。エコ運転は設定した温度より、ひかえめな温度（設定した温度より約0.5～2℃低い温度）で運転することにより消費電力量を減らすモードです。また、この運転モードではひかえめな温度になるように最適な電力レベルを選択しますので、手動で切り替える必要がありません。

運転モード	動作温度	電力レベル
マニュアル運転	選択した温度	選択した電力レベル
エコ運転	選択した温度よりひかえめな温度	最適な電力レベルでの自動切替運転



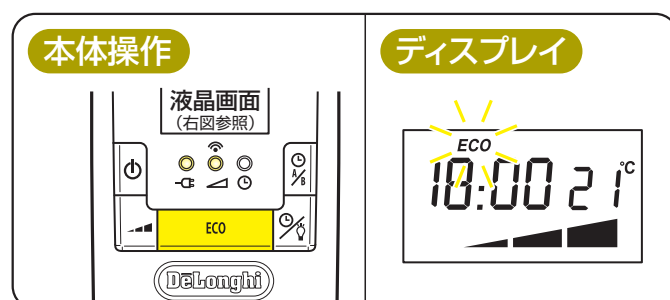
ヒント

エコ運転モード時でも電力レベルを選択することができます。その場合は、選択した電力レベルを上限として、自動で切り替えて運転します。例：中でエコ運転した場合、ヒーターは自動で中・弱・オフを切り替えて運転します。

運転モードの切り替え方法

マニュアル運転中にエコ運転ボタンを押す

ディスプレイにエコ運転表示が表示され、エコ運転モードに切り替わります。マニュアル運転モードに戻す場合は、再度エコ運転ボタンを押してください。



ヒント

室内を早く暖めるために、エコ運転時も電力レベルを「強」に設定することをおすすめします。お部屋が暖まるにつれ、自動で電力レベルを下げていきます。

タイマーの設定方法

デジタルタイマーにより、暖房の開始や停止の予約が可能です。開始予約／停止予約を1セットとして、Aとbの二つの設定を記憶させることができます。

1 電源を入れる

電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押し、電源を入れます。→ 11 ページ参照

2 タイマー A の設定を行う

① 設定ボタンを1回押す

タイマーランプが点滅し、タイマーAの暖房開始時刻が点滅表示されます。

② タイマーAの暖房開始時刻を設定する

+/-ボタンを押して、暖房を開始したい時刻に合わせます。ボタンを長押しすると数字は早く進みます。

③ 再度設定ボタンを押す

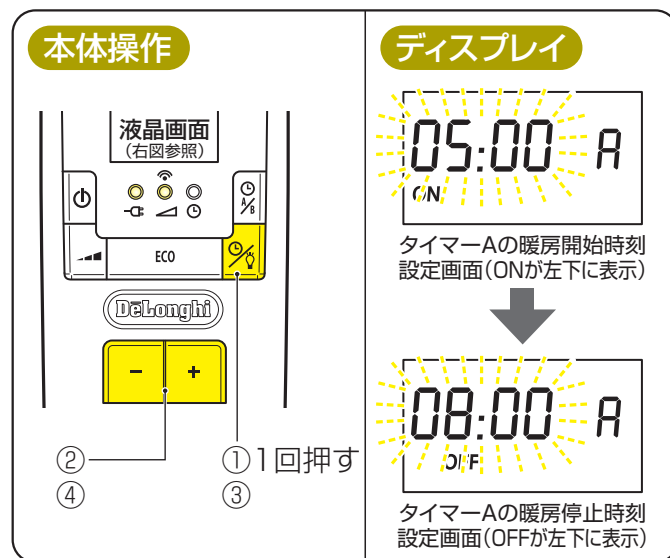
タイマーAの暖房停止時刻設定が点滅表示されます。

④ タイマーAの暖房停止時刻を設定する

+/-ボタンを押して、暖房を停止したい時刻に合わせます。ボタンを長押しすると数字は早く進みます。

⑤ 設定を確定する

5秒間何も押さず待つことで、時刻表示の点滅が止まり、設定が確定されます。設定の途中で通常の暖房運転に戻ってしまった時や設定を変更したい場合は、②-①から再度行ってください。



3 タイマー b の設定を行う

① 設定ボタンを3回押す

タイマーランプが点滅し、タイマーbの暖房開始時刻が点滅表示されます。

② タイマーbの暖房開始時刻を設定する

+/-ボタンを押して、暖房を開始したい時刻に合わせます。ボタンを長押しすると数字は早く進みます。

③ 再度、設定ボタンを押す

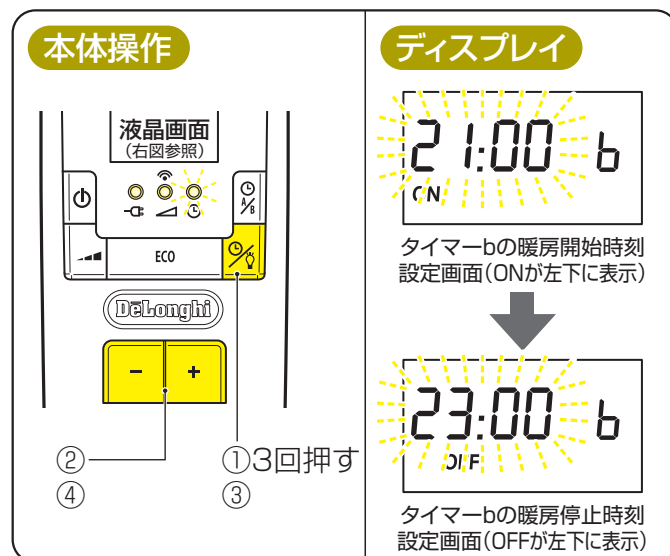
タイマーbの暖房停止時刻設定が点滅表示されます。

④ タイマーbの暖房停止時刻を設定する

+/-ボタンを押して、暖房を停止したい時刻に合わせます。ボタンを長押しすると数字は早く進みます。

⑤ 設定を確定する

5秒間何も押さず待つことで、時刻表示の点滅が止まり、設定が確定されます。設定の途中で通常の暖房運転に戻ってしまった時や設定を変更したい場合は、③-①から再度行ってください。



タイマーの設定方法（つづき）

タイマー A、b どちらも開始時刻／停止時刻のどちらかを未設定にすることにより、オンタイマーのみ、オフタイマーのみという使い方もできます。ここでは、タイマー A を例に説明しています。

オンタイマーのみの設定を行う

①電源を入れ設定ボタンを 1 回押す

タイマーランプが点滅し、タイマー A の暖房開始時刻が点滅表示されます。

②タイマー A の暖房開始時刻を設定する

+/- ボタンを押して、暖房を開始したい時刻に合わせます。ボタンを長押しすると数字は早く進みます。

③再度設定ボタンを押す

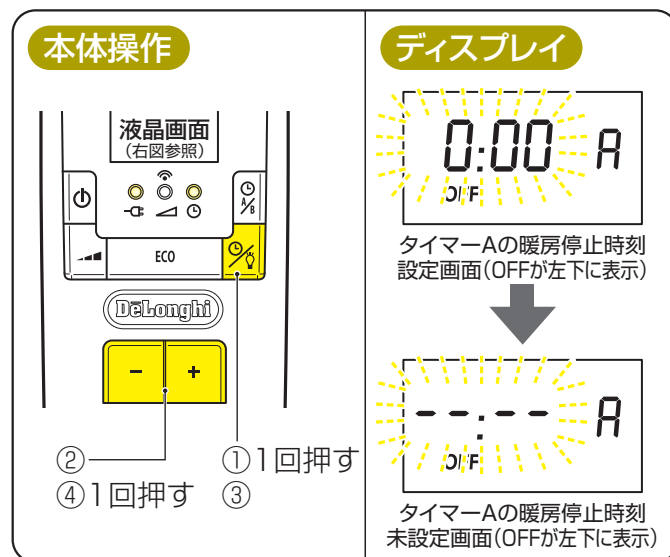
タイマー A の暖房停止時刻設定が点滅表示されます。

④タイマー A の暖房停止時刻を未設定にする

23:59 から+ ボタンを一回押すか、0:00 から- ボタンを一回押すことで暖房停止時刻を未設定にすることができます。

⑤設定を確定する

5 秒間何も押さず待つことで、時刻表示の点滅が止まり、設定が確定されます。設定の途中で通常の暖房運転に戻ってしまった時や設定を変更したい場合は、①から再度行ってください。



オフタイマーのみの設定を行う

①電源を入れ設定ボタンを 1 回押す

タイマーランプが点滅し、タイマー A の暖房開始時刻が点滅表示されます。

②タイマー A の暖房開始時刻を未設定にする

23:59 から+ ボタンを一回押すか、0:00 から- ボタンを一回押すことで暖房開始時刻を未設定にすることができます。

③再度設定ボタンを押す

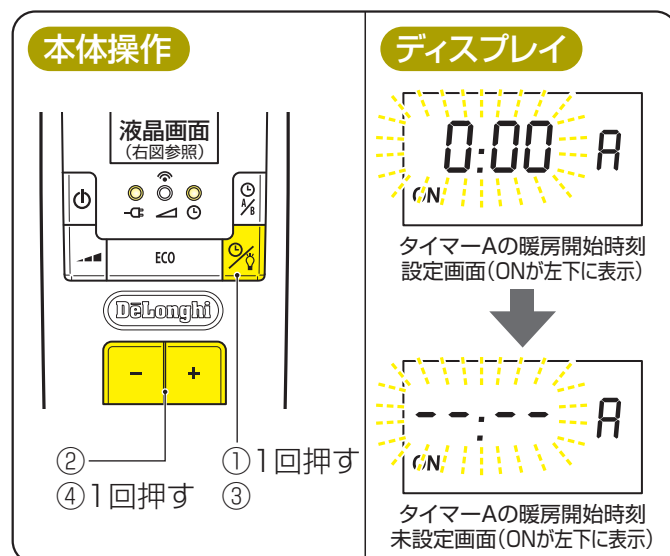
タイマー A の暖房停止時刻設定が点滅表示されます。

④タイマー A の暖房停止時刻を設定する

+/- ボタンを押して、暖房を停止したい時刻に合わせます。ボタンを長押しすると数字は早く進みます。

⑤設定を確定する

5 秒間何も押さず待つことで、時刻表示の点滅が止まり、設定が確定されます。設定の途中で通常の暖房運転に戻ってしまった時や設定を変更したい場合は、①から再度行ってください。



タイマー運転の方法

設定した時刻に予約暖房を行う方法です。事前にタイマーの設定（13～14ページ参照）が必要です。

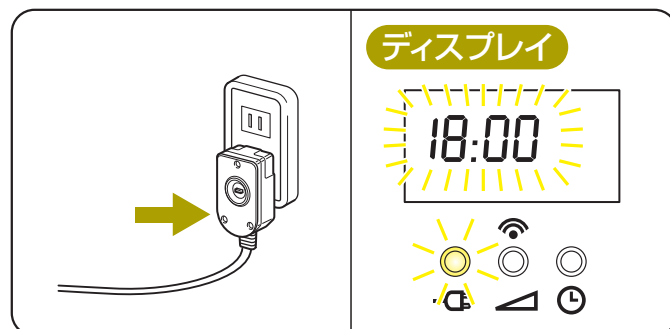
1 電源プラグをコンセントに差し込む

① 電源プラグをコンセントに差し込む

壁面コンセントに根元までしっかりと入れてください。また、電源コードは、コード・ホルダーから解き、伸ばした状態でご使用ください。

② 通電ランプが点灯する

通電ランプが点灯し、時刻表示が表示されます。



ヒント 初回使用時や現在時刻の設定が消えてしまった場合は、時刻表示が点滅します。タイマー運転を行うには現在時刻を設定する必要があります。設定の方法は9ページ「現在時刻の設定」を参照してください。

2 電源を入れ設定をする

① 電源ボタンを押し、電源を入れる

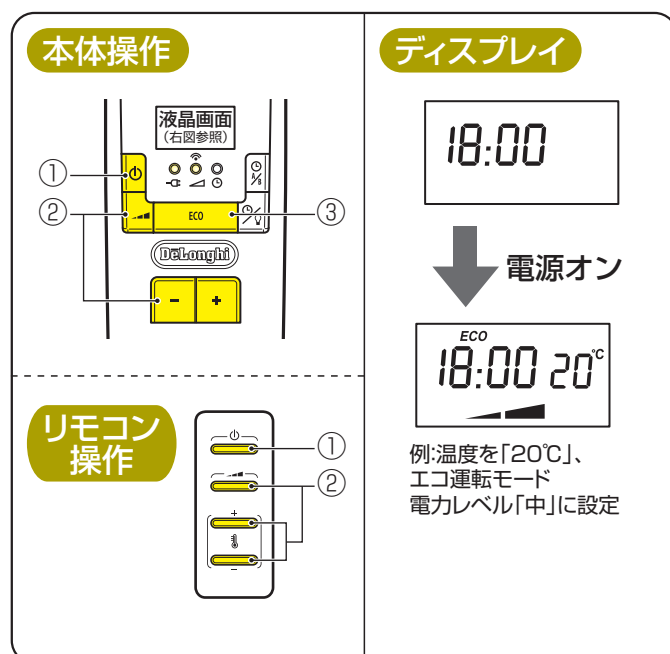
電源ボタンを押し、電源を入れます。電源を入れると、設定されている電力レベル・温度が表示されます。

② 電力レベル、温度を設定する

電力レベルボタン、+/-ボタンで設定を行います。詳しくは10ページ「暖房の設定方法」を参照してください。

③ 運転モードを選択する

エコ運転ボタンで運転モードを選択します。詳しくは12ページ「運転モードの切り替え」を参照してください。



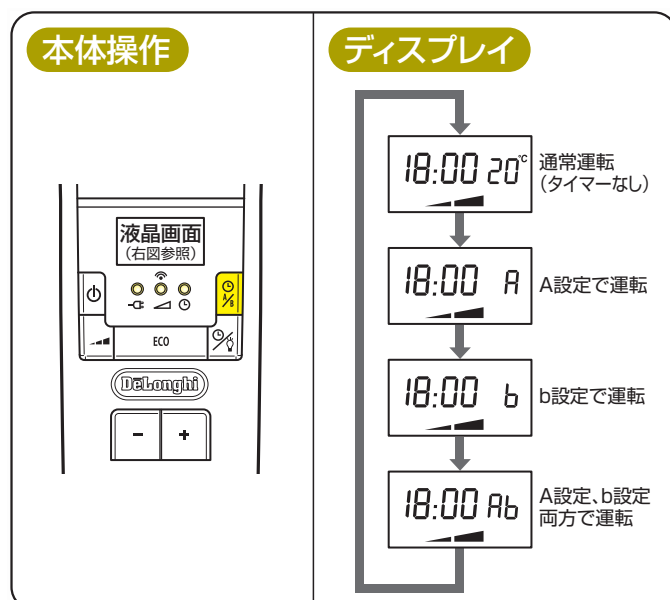
3 タイマー運転にする

① タイマー運転ボタンを押し、希望するタイマー設定を選択する

タイマーの設定時刻になると暖房を開始します。

タイマー運転ボタンを押すごとに
「タイマー運転(設定A)→タイマー運転(設定b)」「タイマー運転停止←タイマー運転(設定A&b)」と切り替わります。

タイマー運転中はタイマーランプが黄色で点灯します。また、現在時刻がタイマーの予約時間（オン時間）内であるときはタイマー運転表示（ディスプレイ上にAUTO）が表示されます。



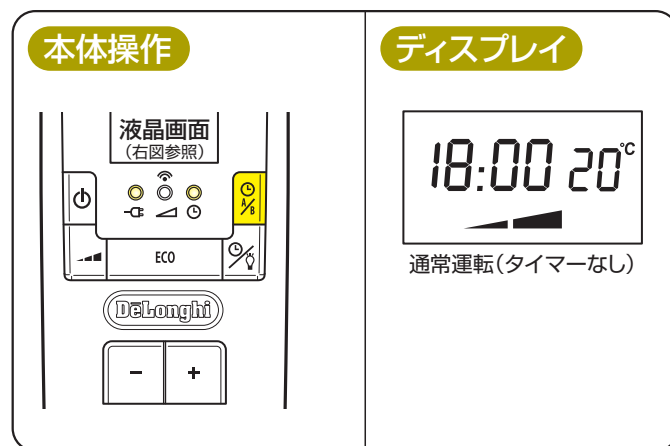
タイマー運転の方法 (つづき)

通常運転に戻したい場合は

タイマー運転ボタンを押して、ディスプレイ表示が通常運転(タイマーなし)の状態にしてください。タイマー運転が解除され、通常運転に切り替わります。

※タイマー運転ボタンを押すごとに

→タイマー運転(設定A)→タイマー運転(設定b)
 ↳タイマー運転停止←タイマー運転(設定A&b)← と切り替わります。



A 設定、b 設定の両方で運転する場合は

A 設定、b 設定の両方で運転する場合は、両方の予約時間（オン時間）が重ならないように設定を行ってください。予約時間が重なった場合、より早い暖房開始時刻とより遅い暖房停止時刻が優先されます。

例		9時	10時	12時	15時
A 設定	ON : 9 時、OFF : 12 時				
b 設定	ON : 10 時、OFF : 15 時				
実際の稼働	ON : 9 時、OFF : 15 時				

オンタイマーのみ、オフタイマーのみで運転する場合は

オンタイマーのみ、あるいはオフタイマーのみでタイマー運転を行う場合は、A 設定、b 設定の両方で運転を行わないでください。オンタイマーあるいはオフタイマーがセットされているタイマー設定のみを選択し、タイマー運転を行ってください。

設定の記憶保持に関する補足

「現在時刻」、「電力レベルの設定」、「操作音」、「チャイルドロック」の設定内容は、電源プラグを抜いても約 2 時間記憶されます。（ただし、事前に約 15 分間電源プラグをコンセントに差したままにしておく必要があります。）

なお、「温度の設定」、「タイマー暖房開始 / 停止時刻」、「液晶の明るさ設定」の設定内容は、電源プラグをコンセントから抜いても消えません。

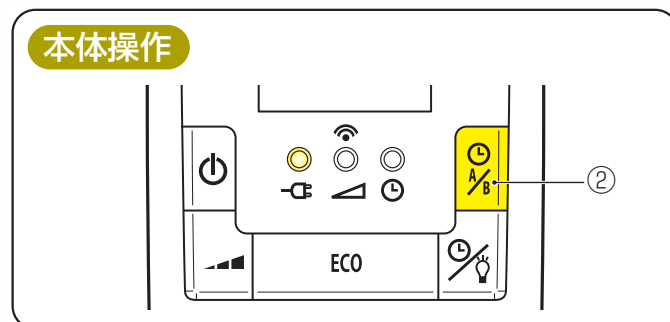
これらの設定内容をリセットして、初期の状態に戻すには、次の操作を行ってください。

- ①電源プラグをコンセントに差し込む。
- ②タイマー運転ボタンを約 5 秒間長押しする。

注意 電源がオフの状態で操作してください。

リセット後の設定内容は、次のとおりです。

- 温度の設定：21℃
- タイマー暖房開始 / 停止時刻：設定なし
- 液晶の明るさ設定：4 段階（3 段階+消灯）の 2 段階目の明るさ

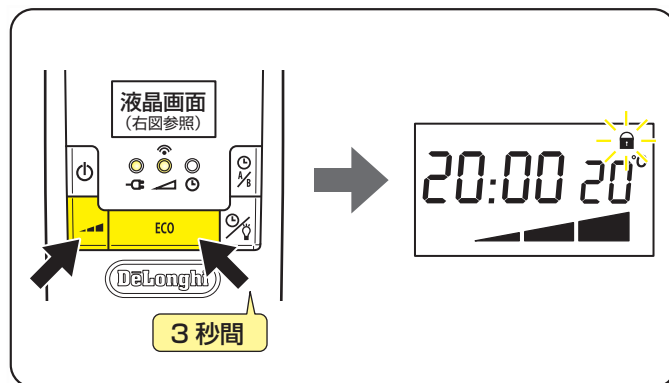


便利な機能について

チャイルドロック

電力レベルボタンとエコ運転ボタンを同時に 3 秒間押し続けることで、「チャイルドロック」を行うことができます。設定時はディスプレイに🔒マークが表示され、操作パネルでの操作ができなくなります。解除するには、同様の操作を行ってください。

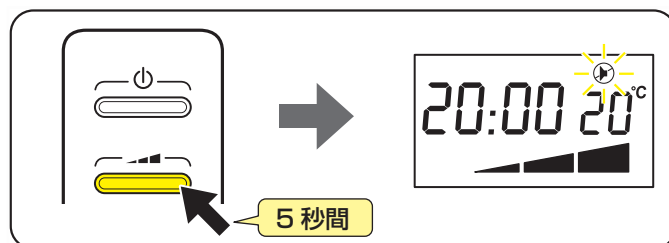
※リモコンでの操作はチャイルドロックに関係なく実施できます。



操作音の設定

リモコンの電力レベルボタンを本体に向け 5 秒間押し続けることで、リモコン操作時や運転停止時の音が消せます。設定時は本体ディスプレイに🔊マークが表示されます。

解除するには、同様の操作を行ってください。



液晶の明るさ設定

①設定ボタンを 6 回押すとディスプレイが「E」表示になります。

②+/- ボタンを押し明るさを調節してください。

③5 秒間何も押さず待つことで、設定は確定されます。

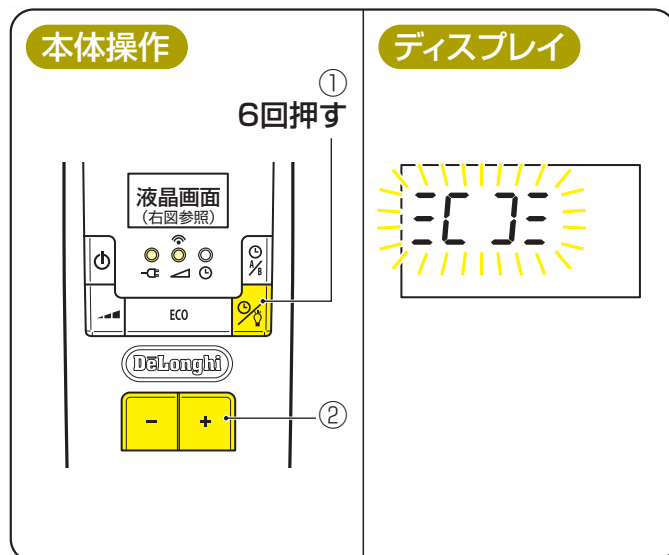
※明るさは 4 段階（3 段階+消灯）に設定できます。

ボタン操作中とボタン操作した後、5 分間は最大の明るさで表示されます。

5 分間操作を行わないでいると、設定した明るさでの表示になります。（電源を切っても設定は記憶されます。）

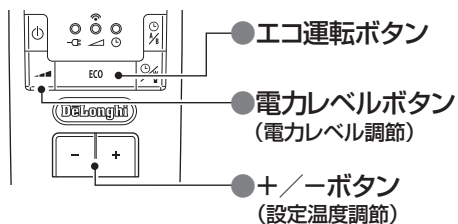
●消灯に設定している時、液晶の明るさを変更する場合

設定ボタンを 6 回押してもディスプレイは暗いまですが、+ ボタンを押すことで明るさ設定を変えることができます。



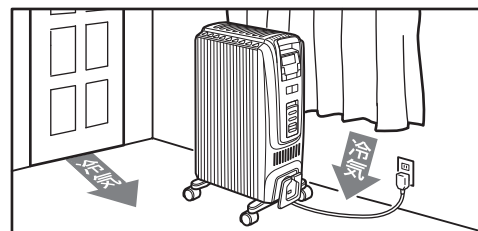
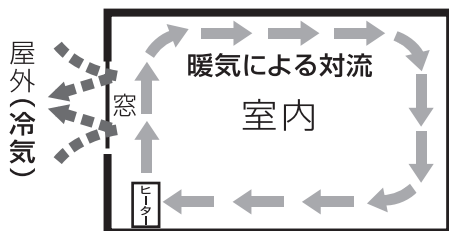
ヒーターの上手な使い方

節電対策



エコ運転を活用することで消費電力量を減らすことができます。また、マニュアル運転でも電力レベルや設定温度を調節することで暖め過ぎを防げますので、こまめに調節するようにしてください。

ダウンドラフト対策：効果的な設置場所



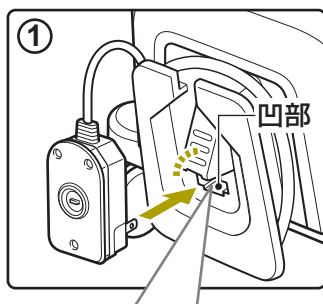
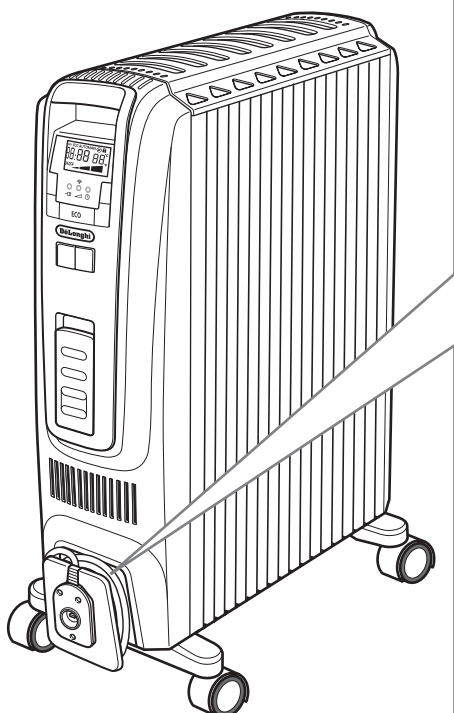
室内で、特に冷気のダウンドラフト（冷気の侵入）が発生しやすい場所＝窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気による“エアカーテン”で、ダウンドラフトの発生を抑えます。また、窓に厚手のカーテンをしたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることで、より効果的な暖房が得られます。

ヒント

マニュアル運転では電力レベルを「強」ではなく、「中」や「弱」に設定することにより、エネルギーの消費を抑えることができます。ご使用時の外気温やお部屋の広さ、断熱性能に応じて使い分けてください。

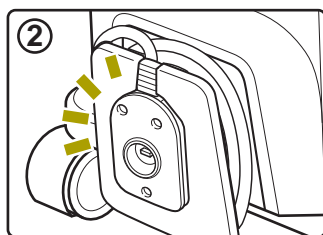
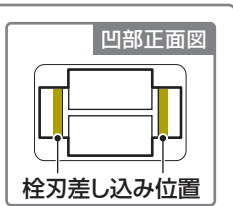
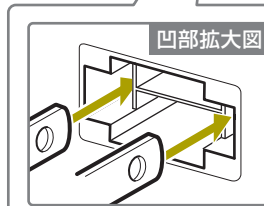
プラグの収納について

収納する際は、電源コードをコード・ホルダーに軽く巻き、電源プラグを図のように収納します。



①電源コードをコード・ホルダーに巻き、電源プラグを奥までしっかりと差し込みます。

※電源プラグの栓刃を凹部の両端に平行に合わせ、真っ直ぐ差し込んでください。



②収納完了。

※電源プラグを収納する場所には温度センサー部があります。収納の際、プラグを無理に押しこむと温度センサー部の故障、および栓刃の変形につながりますので、ご注意ください。



警告



運転の際は、電源コードをコード・ホルダーから解き、余っても束ねない。





断線の原因となるので、電源コードをコード・ホルダーに強く巻かない。

故障かな？ 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、電源ボタン押して電源を切り（＝運転を中止し）、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は 26 ページ「アフターサービス」を参照してください。

症 状（状態）	予想される原因	対処のしかた
電源ボタンを押しても、暖かにならない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	電力レベルが低い	電力レベルボタンを押し、電力レベルを  （強）に設定します。
	設定温度が低い	+ ボタンを押し、設定温度を上げます。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
	チャイルドロックが設定されている	電力レベルボタンとエコ運転ボタンを同時に 3 秒間押し、チャイルドロックを解除します。（17 ページ参照）
	電源プラグの復帰型温度過昇防止装置が作動している	運転中に電源プラグスイッチが作動した場合は、一時使用を止め、当社サービスセンター（26 ページ）にご連絡ください。（詳しくは 6 ページ参照）
電源プラグをコンセントに差し込んでも通電ランプが点灯しない	通電ランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または当社サービスセンター（26 ページ）にご連絡ください。
電源を入れても電力レベルランプが点灯しない	電力レベルランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または当社サービスセンター（26 ページ）にご連絡ください。
	設定温度が低い	+ ボタンを押し、設定温度を上げます。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
	タイマー運転をしている	タイマー運転ボタンを押し、通常運転に切り替えます。
タイマー運転ボタンを押してもタイマーランプが点灯しない	タイマーランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または当社サービスセンター（26 ページ）にご連絡ください。
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる（通常時目安：強運転時で約 40℃）	延長コードを使ったり、タコ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格 15A 以上の壁面コンセントに直接差し込みます。
	電源プラグ（栓刃）を、根元までコンセントに差し込んでいない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。
	差し込み口（刃受）が 2 つあるコンセントで、両方の差し込み口を使用している	差し込み口（刃受）が 2 つある壁面コンセントを使用する際は、必ず、片方の差し込み口を空けておきます。
	コンセントがガタついたり、差し込み口（刃受）がゆるい	お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形・破損している	お求めの販売店または当社サービスセンター（26 ページ）に、修理・交換を依頼してください。
	電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。
	電源コードをコード・ホルダーから解いていない。束ねた状態で使用している	余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。
	電源プラグやコンセントに、ゴミやホコリが付着している	定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除いてください。

症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
タイマーで設定した暖房の開始時刻になっても、暖房が始まらない	設定温度が低い	+ ボタンを押し、設定温度を上げます。(温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。)
	A 設定、b 設定の予約時間 (オン時間) が重なった状態で、タイマー運転 (A & b) をしている	それぞれの予約時間 (オン時間) が重ならないように設定を変更してください。
タイマーで設定した暖房の停止時刻になっても、暖房が止まらない	A 設定、b 設定の予約時間 (オン時間) が重なった状態で、タイマー運転 (A & b) をしている	それぞれの予約時間 (オン時間) が重ならないように設定を変更してください。
	オンタイマーのみ、オフタイマーのみで運転したいときに、タイマー運転 (A & b) をしている	オンタイマーあるいはオフタイマーがセットされているタイマー設定のみを選択し、タイマー運転を行ってください。
リモコンの操作を受け付けない	本体前面に向けて操作していない	リモコンを本体の前面に向けて操作をします。
	古くなった乾電池を使用している	新しい乾電池に交換します。
リモコンが本体に収納できない	リモコンに乾電池が入っていない	リモコンに乾電池を入れます。(本体内部の磁石により、リモコンの乾電池を吸着しています。)
各種ランプは点灯するが、ディスプレイが表示されない	ディスプレイの明るさを最低 (消灯) にしている	ディスプレイを明るさを最大にします。(17 ページ参照)
	ディスプレイが故障している可能性あり	お求めの販売店または当社サービスセンター (26 ページ) にご連絡ください。
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件 (断熱材や位置など) によって異なります	設定温度が低い	+ ボタンを押し、設定温度を上げます。(温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。)
	電力レベルボタンを  (弱) に設定している	電力レベルボタンを押し、電力レベルを  (強) に設定してください。
	ヒーターを、ドア (出入口) 付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア (出入口) から離れた場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生するダウンドラフト (冷気の侵入) を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。
	ヒーターのラジエーター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない	オイルが暖まるのに約 30 分～1 時間かかるため、事前に電源を入れておいてください。部屋を暖めたい 1 時間前に暖房運転が始まるようタイマーを設定しておくと便利です。
内部のオイルが漏れ出している	偶発的な不具合	<p>オイルは難燃性であり発火に至ることはなく、また皮膚に触れても人体に重大な危険を生じさせるものではありませんが、万一オイルが漏出した場合は次のとおりにお取り扱いください。</p> <p>電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、漏れ出したオイルをタオルなどで拭き取ってください。必要に応じて窓を開けるなどして換気を行ってください。また、オイルが皮膚に付着した場合はぬるま湯と石鹸で洗浄してください。その後、当社サービスセンター (26 ページ) にご連絡ください。</p>

これは故障ではありません

初期使用時の臭いについて

最初は、新製品特有の臭いを感じることがあります。これは、本体の耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。数日ご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

パチッパチッと音がする

電源を入れると、しばらく、ヒーター内部で天ぶらを揚げる様な音がする場合があります。これは、外気との温度差によって結露が生じ、熱くなったオイルに落ちたときのものです。異常ではありません。

仕 様

製 品 名 称	デロンギ ドラゴンデジタル オイルヒーター		
型 式 番 号	TDD0915W		TDD0712W
適 用 畳 数	4 ～ 10 畳		3 ～ 8 畳
定 格	電 圧 / 周 波 数	交流 100V / 50/60Hz	
	消 費 電 力	600 W ・ 900 W ・ 1500 W	500 W ・ 700 W ・ 1200 W
外 形 寸 法 (※) / 質 量	長さ 53.0cm × 幅 26.5cm × 高さ 66.0cm / 16.5kg		長さ 46.0cm × 幅 26.5cm × 高さ 66.0cm / 13.5kg
タ イ マ ー	デジタルタイマー		
安 全 装 置	転倒時自動電源遮断装置・温度過昇防止装置 (本体内) ・ 復帰型温度過昇防止装置 (電源プラグ内)		
付 属 品	リモコン、リモコン用乾電池 (単 4 形 × 2) 、 上手な使い方 (冊子)		

※外形寸法の各数値は、キャスターを開いた状態のものです。

電源プラグ・コードの安全チェックシート

近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記のチェック項目に従って、使用時だけでなく、定期的に電源プラグ、電源コード、コンセントの点検を行ってください。

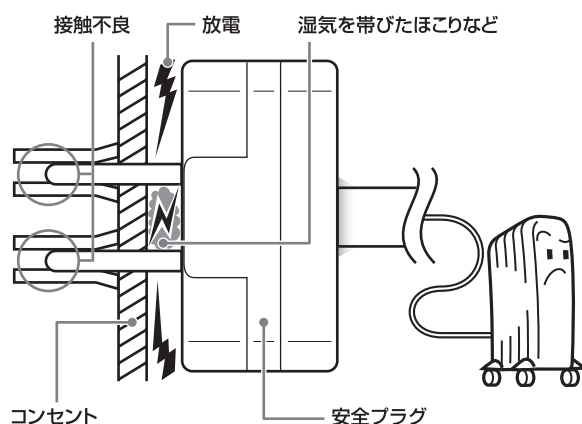
トラッキング現象とは ...

長期間、電源プラグをコンセントに差し込んだままにすると、徐々に電源プラグとコンセントの間にホコリが溜まります。そのホコリに湿気が加わることによって、プラグの両極間に微小の電流が流れます。この状況が長期間続くと、電源プラグの刃と刃の間の樹脂部分（絶縁材）が徐々に炭化し、電気の筋道（導电路：トラック）が作られます。やがて電気の筋道に大量の電流が流れるようになり、最終的にはショート（短絡）して、発火の原因となります。これを「トラッキング現象」といいます。

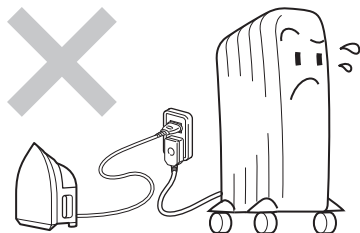
電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

電源コードを引っ張ったり、電源プラグを根元までしっかりとコンセントに差し込まないと、電源プラグとコンセントの接触が不十分な状態（接触不良）で電流が流れることになり、コンセント部が発熱します。この状態のまま放置していると、コンセントの刃受のばね圧力が劣化します。さらに発熱することでアーク現象（空中放電）が発生し、発火の原因となります。

AC100V



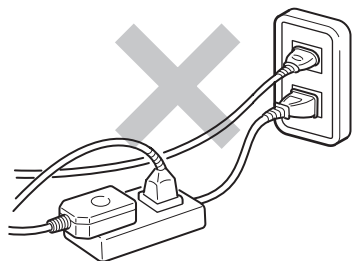
☒ 壁面コンセントを単独で使っていますか？



壁面コンセントは、定格容量 15A のものをお使いください。また、他の器具と併用すると容量オーバーになり異常発熱し、発火の原因になります。

2 口コンセントは片方を空けて、単独でご使用ください。

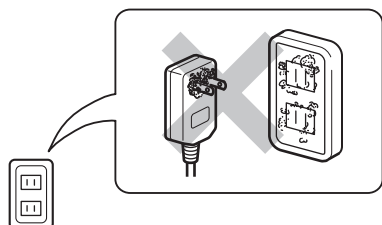
☒ 延長コード、テーブルタップを使っていますか？



コンセントや電源プラグ／電源コードが異常に発熱し、発火の原因になります。

延長コード、テーブルタップの使用は避け、電源は壁面コンセントから直接お取りください。

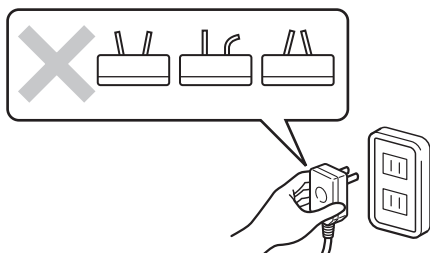
☒ 電源プラグやコンセントにホコリがついていませんか？



電源プラグとコンセントの接触面にホコリや湿気が付着すると、トラッキング現象が発生し、発火の原因になります。

定期的に、電源プラグやコンセントに付着したホコリを掃除機などで取り除いてください。

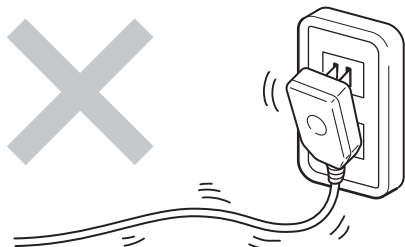
☒ 電源プラグが変形していませんか？



曲がった栓刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受を変形させる原因となります。

ペンチなどで手直しをしないで、お求めの販売店または当社サービスセンターにプラグの交換をご依頼ください。

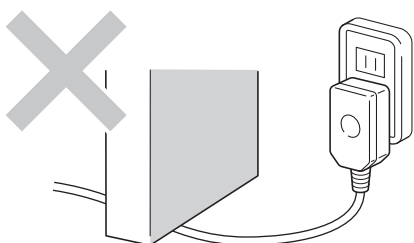
☒ コンセントにガタツキはありませんか？



刃受のばね圧力が劣化したコンセントを使用すると、電源プラグと十分な接触が得られず異常発熱し、発火の原因となります。

コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。

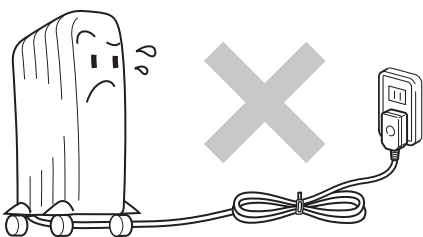
☒ 電源コードに重いものが載っていませんか？



家具等の下敷きになった電源コードは、無理な力が加わり、電源コードの中の細い銅線が断線することがあります。最悪の場合には発火の原因になります。

電源コードを家具等で踏んだり、壁に押し付けたりしないでください。

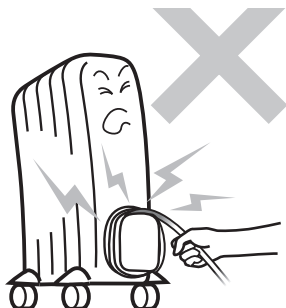
☒ 電源コードを束ねたままではありますか？



ヒーター運転中は電源コードの温度が人の体温程度（約 40℃）になります。電源コードを束ねたままでお使いになると、熱の逃げ場がなくなり、異常発熱し発火の原因になります。

余った電源コードは残さずコード・ホルダーから解き、伸ばしたままお使いください。

☒ 電源コードをコード・ホルダーに強く巻きつけすぎていませんか？



電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、感電やショートの原因になります。

電源コードをコード・ホルダーに強く巻きつけしないでください。

お手入れ／保管のしかた



お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。

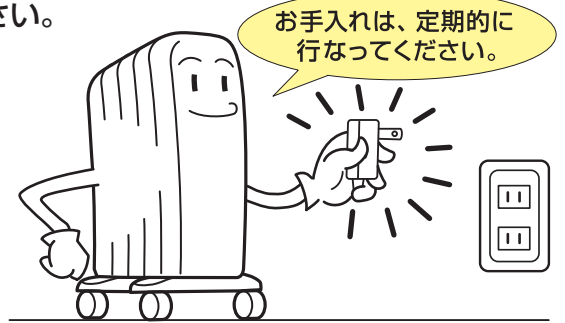


水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。

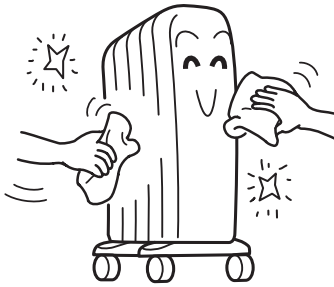


保管する際は、必ず事前にお手入れをし、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。

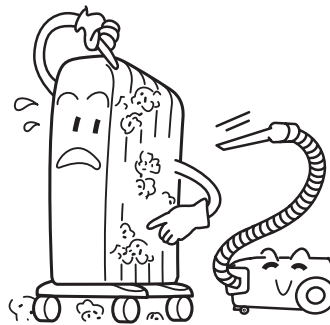
※箱に収納しない場合は、必ずキャスターを開いた状態で保管してください。



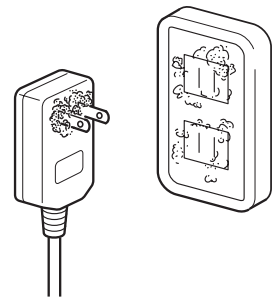
- 本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



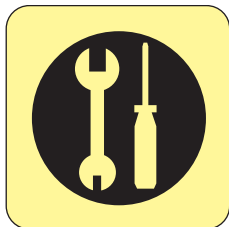
- 本体および壁と床とのすき間に溜っているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



- 壁面コンセント（刃受）および電源プラグ（栓刃）に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。

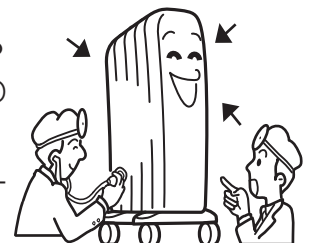


まごころ点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をおすすめします。

保証期間が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金等につきましては、当社サービスセンター（26 ページ）までお問い合わせください。



アンケートご協力をお願い

当社の製品およびサービスの更なる向上のため、対象モデルをお買い上げのお客様を対象にアンケートを実施しております。是非、アンケート調査へご協力いただけますようお願い申し上げます。

ご協力いただきましたお客様の中から、抽選で 36 名のお客様に以下のデロンギ製品をプレゼントいたします。なお、当選の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。(抽選時期:年 1 回 3 月末日実施)
※実際の商品と掲載写真は異なる場合がございます。また商品は予告なく変更になる場合がございます。

抽選で
1 名様



デロンギ
コンパクト全自動
エスプレッソマシン
マグニフィカSプラス
ECAM23210B

抽選で
10 名様



デロンギ
ケーミックス
ドリップコーヒーメーカー
CMB6
3色からお選びいただけます。

デロンギ
トライブレード
ハンドブレンダー
DHB721



抽選で
10 名様

デロンギ
ケーミックス プティック
電気ケトル
SJM010J
5色からお選びいただけます。



抽選で
15 名様

アンケート入力フォーム

インターネット上のアンケート入力フォームにアクセスして、必要事項の入力、およびアンケートのご回答をお願いいたします。(スマートフォンからも入力いただけます。)

 <http://www.delonghi.co.jp/camp/ofh13d.html>

上記のアドレスを入力するか、QR コードを読み取ることで当社の「お客様アンケート」のページが表示されます。

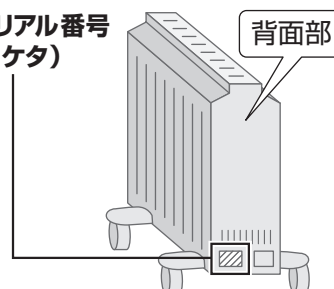


アンケート内で、お買い上げ製品の確認のためにシリアル番号の入力をお願いしております。

製品背面(操作部と反対側の面)の下部に貼付してあるステッカーの**8 ケタの数字**を入力してください。

製品シリアル番号
(8ケタ)

背面部



アフターサービス

- 1) 使用中に異常(★)が生じた場合は、直ちに電源スイッチで電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、19～20ページ「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社サービスセンター(下記参照)にご相談ください。

＜★以下のような場合には、点検および修理が必要です＞

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・操作パネルや放熱板に、水やジュース(液体)などをこぼした
- ・本体に、強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 2) 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期 ②製品名称と型式番号③故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して当社サービスセンター(下記参照)に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いします。

※お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ(下記参照)にてご確認ください。

- 3) 保証期間中は、保証書に記載されているものについては無料で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有料で修理いたします。

- 4) 補修用性能部品の保有期間について

当社では、このオイルヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 5) デロンギ再資源化システムについて：



で不用になった製品は、下記の要領に従い、当社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送り先については、事前にお電話あるいは下記ホームページにてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社サービスセンター(下記参照)までお問い合わせください。

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30～17:00)

コールセンター Tel.0120-804-280 / Fax.045-450-3291

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ(URL) — <http://www.delonghi.co.jp/support>